

2020年2月20日

各位

国際石油開発帝石株式会社  
広報・IRユニット  
(電話03-5572-0233)

インドネシア共和国 アバディLNGプロジェクト（マセラ鉱区）におけるインドネシア国内向けLNGおよび天然ガスの長期供給に関する覚書の締結について（お知らせ）

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、当社子会社インペックスマセラアラフラ海石油株式会社を通じて操業主体（オペレーター）を務めるアバディ LNG プロジェクト（以下、本プロジェクト）を、プロジェクトパートナーである Shell 社（以下、Shell）と共にインドネシア共和国アラフラ海マセラ鉱区にて推進しておりますが、本年2月19日にジャカルタにおきまして、アリフィン・タスリフ エネルギー鉱物資源大臣立ち合いのもと、インドネシア国営電力会社 PT PLN (Persero)（以下、PLN）、および同国営肥料会社 PT Pupuk Indonesia (Persero)（以下、Pupuk Indonesia）との間で、本プロジェクトからインドネシア国内向けへの LNG および天然ガスの長期供給に関する覚書をそれぞれ締結いたしましたので、お知らせいたします。



署名式の様子

# 国際石油開発帝石株式会社

## INPEX CORPORATION

両社との覚書は、PLNが保有・運営に関与するインドネシア国内の天然ガス火力発電所向けのLNG、およびPupuk Indonesiaが建設を予定している化学品工場向けへの天然ガス（日量1億5千万立方フィート）をそれぞれ長期供給することを念頭に、両社との間でLNGおよび天然ガスの販売・調達に関する協議を開始することを内容としております。本プロジェクトからのLNGおよび天然ガスの長期供給が実現することにより、ガス需要の伸びが見込まれるインドネシアにおいて、同国政府が注力する自国産資源の活用に資するとともに、特に発展が求められているインドネシア東部の経済にも大きく貢献することが期待されます。

本プロジェクトは、当社がインドネシアでオペレーターとして操業する初めての大型LNGプロジェクトです。アバディガス田は、世界有数の良好なガス田性状および埋蔵量を有しており、効率的な開発と長期に亘る安定的なLNG、天然ガス生産が期待されております。

以上